

2

家電を使った場合の洗濯物乾燥の時間とコスト

梅雨時に、家電を使用し、洗濯物4.5kg(家族3人分相当)を乾燥させました

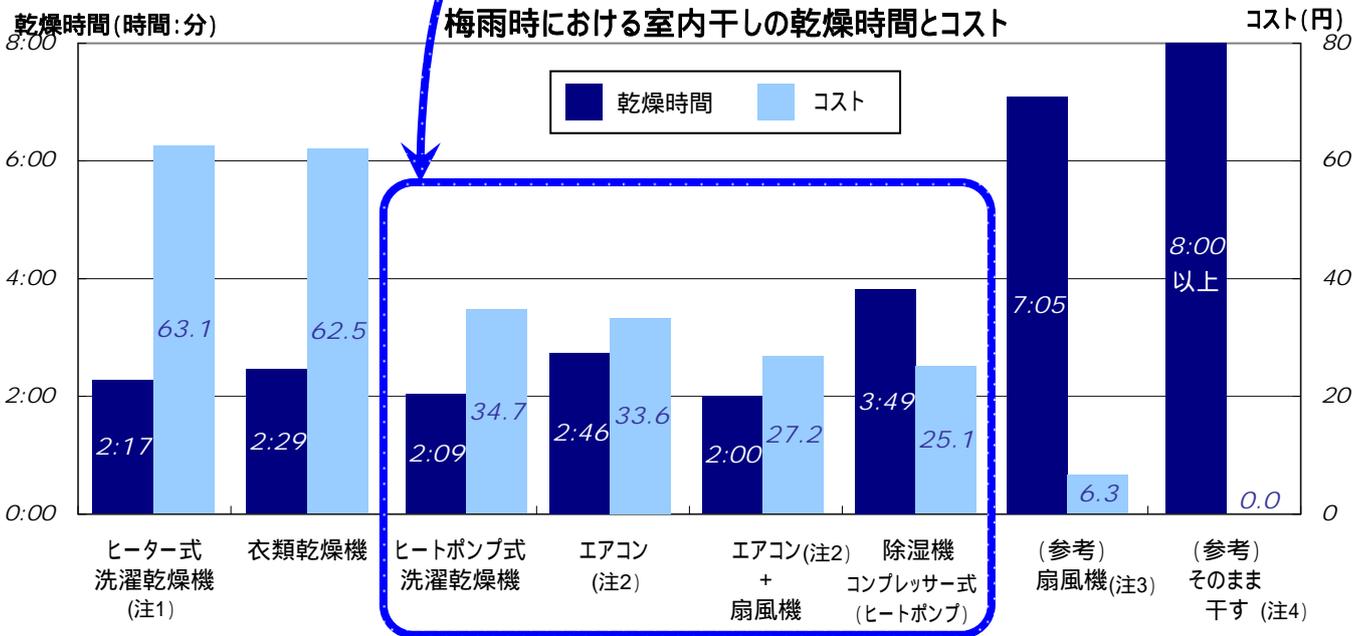
洗濯物を室内で干す場合、

乾燥時間が短いのは、「エアコン(+扇風機)」、「ヒートポンプ式洗濯乾燥機」です。
コストが安いのは、「扇風機」ですが、乾くのに7時間かかります。

乾燥時間が短くコストも相対的に安い「エアコン(+扇風機)」、「ヒートポンプ式洗濯乾燥機」、「除湿機」、「エアコン」の使用をおすすめします。

エアコンや除湿機では2~4時間程度で乾くため、外出中や夜間など、人がいない時間を活用して乾燥をさせると、じゃまにならず、快適です。

エアコン単体の使用よりも「エアコン」と「扇風機」を併用すると、コストも安く、時間も短縮できます。



- (注1) 最新のヒーター式洗濯乾燥機は、ヒートポンプ式洗濯乾燥機と乾燥時のコストが同等の省エネ性の高い機種もあります。
- (注2) エアコンによっては、「ランドリー運転モード」「衣類乾燥モード」が無い場合があります。ランドリー運転・衣類乾燥モードは、衣類の乾燥を優先させるため、室内の温度や湿度が変わる場合があるので、人のいない部屋での使用をおすすめします。
- (注3) 扇風機でも洗濯物を乾かすことはできましたが、扇風機では洗濯物からの湿気を取り除くことができず、室内が湿気ることがあるので、今回は参考情報としました。
- (注4) 機器を使用せずに、そのまま室内で洗濯物を干したところ、8時間経過しても洗濯物は乾きませんでした。

本試験データは、当社の研究所にて実施した結果です。実施場所、外気温、湿度、天候などにより試験結果は異なる場合があります。

【試験期間】

2007年6月~7月:衣類乾燥機と扇風機単独の試験
2006年6月~7月:上記以外の試験

【試験場所】

東京電力技術開発研究所 住宅実験棟
洗濯乾燥機および衣類乾燥機の試験は脱衣所にて、
その他の試験は、6畳洋室にて実施。

【試験方法】

4.5kgの衣類を洗濯機にて、洗濯・脱水し、乾燥。
エアコンは、「ランドリー運転モード」を使用。
除湿機は「衣類乾燥運転モード」を使用。
ヒーター式・ヒートポンプ式洗濯乾燥機は、洗濯、脱水後の衣類を投入して、乾燥運転を実施。
室内は24時間換気を実施。

【衣類の種類と量】

種類	布材料	目安重量	数量
半そで肌シャツ	綿	130g	5
長袖シャツ	ポリエステル65% / 綿35%	200g	6
ハスタオル	綿	300g	2
スウェットスーツ	ポリエステル	500g	1
ハンガマ	綿	500g	1
子供用半ズボン	ポリエステル65% / 綿35%	200g	2
ブリーフ	綿	50g	3
ソックス	混紡(綿、アクリル、ポリウレタン)	50g	3
浴用タオル	綿	70g	5

【試験機種】

ヒーター式洗濯乾燥機:NA-V82
ヒートポンプ式洗濯乾燥機:NA-VR1000
衣類乾燥機:NH-D502
扇風機:F-CA322
以上 松下電器産業(株)(現パナソニック(株))
エアコン:MSZ-ZXV22P-W 三菱電機(株)
除湿機:RD-80TX 日立H&L(株)(現日立アプライアンス(株))

【試算条件】

・電気料金:22.86円/kWh(税込)
東京電力「従電灯B」第2段階料金(2009年4月)
・水道料金:228円/m3(税込)[内訳:水道料金128円/m3(税込)、水道使用料100円/m3(税込)] (社)日本電機工業会調べ